

生命理学特論 IV, V

(Special Lecture on Basic Biology IV, V)

The course, focused on marine biology/ecology and taught by three AMBL staff (Prof M Tokeshi, Dr S Arakaki and Dr NiNi Win), will be held on 24-28 August 2020 at Amakusa Marine Biological Laboratory. Postgraduate students wishing to participate should contact Dr S Arakaki (arakaki@amb1-ku.jp) by 31 July.

1. 内容 海洋生態学研究の基本を学ぶことを目指し、データ収集と解析を通して生物と環境の関係を知ると共に海洋生物の多様性と生態に関する理解を深める。主に潮間帯(岩礁、転石、砂質干潟)と潮下帯(サンゴ群集)の群集を対象としてデータを得、そのデータに即した統計解析を行なう。(データ収集の対象は海況等に応じて毎年異なる)。また、関連した論文の輪読と各自の研究発表を行なう。実習はすべて英語。
2. 実施場所 九州大学理学部附属天草臨海実験所 (<http://amb1-ku.jp>)
〒863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡 2231
3. 期間 2020年8月24日(月) 現地集合、ガイダンス 17:00~
8月25~27日 実習
8月28日(金) レポート作成、講評、後かたづけ
但し、コロナウイルス感染症の拡大など、状況によっては中止となることもあります。
4. 対象・定員 大学院生・5名程度
5. 所要経費 交通費 : 実費
宿泊費(宿泊費・食費、4泊5日分) : 9,000円(現地払)
6. 参加申し込み
希望者は掲示があり次第、下記連絡先へ申し込むこと
※参加者全員に、学生教育研究災害傷害保険等の保険加入が義務づけられています。申込時に加入証明書を提示するとともに、自身および保護者の連絡先電話番号をお知らせ下さい。
申込〆切 2020年7月31日(金)
7. 申し込み後の取消
天草臨海実験所へ連絡すること。※直前に受講を取りやめる場合は、キャンセル料が必要となる場合があります。
8. 実験所へのアクセス
・熊本市内 <バス 120-140分> 本渡市 <バス 60分> 富岡港 <徒歩 10分> 実験所
・長崎市内 <バス 30分> 茂木港 <高速艇 40分> 富岡港 <徒歩 10分> 実験所 など
ほかにも複数ルート有、詳細はホームページ (<http://amb1-ku.jp/>) を参照
9. 参加者への連絡事項
(1) ノートパソコン・筆記用具・英語辞書(電子辞書)を持参すること
(2) 天候などの都合によりシラバスと実習内容が異なる場合がある
(3) 濡れても良い運動靴・帽子等、磯歩きに適した服装を各自準備すること
(4) シュノーケリング観察用に水着・サンダル・ラッシュガードなど濡れても良い服装(ウエットスーツがあるとなお良い)を持参すること。シュノーケルセットは備え付け有(持参も可)
(5) 日焼け止め等、日焼けの対策は絶対必要
(6) 石けん・シャンプー・洗濯洗剤等は宿舎に常備。ねまき・タオルは各自用意すること
(7) 荷物がある人は事前に実験所宛に発送しても良い(ただし事前に連絡すること)
(8) 食品アレルギーなど特段の配慮を必要とする事項がある人は事前に連絡すること
10. 連絡先
九州大学理学部附属天草臨海実験所
〒863-2507 熊本県天草郡苓北町富岡 2231
TEL 0969-35-0003、FAX 0969-35-2413
E-mail: arakaki@amb1-ku.jp (新垣誠司)

